十勝毎日新聞
発行所 十勝毎日新聞社
〒080 帯広市東1条南8丁目
電話=編集㉒2121、広告㉓2323、総務・販売㉔2222
©十勝毎日新聞社 1985

帯広銘菓 おいしさを北へ南へ贈ります(宅急便で) 百代餅 柳月

資金運用が問題に　渡辺学園

ホテル建設に1億円

補助金流用と誤解招く

道議会で公明議員追及

帯広北高校（渡辺真校長、生徒数九百二十三人）を運営する学校法人・帯広渡辺学園（帯広市東三南六、同理事長）の資金運用について、三日開かれた道議会代表質問で公明党の浅野俊一議員（札幌）は「学校経営と無関係のホテル会社設立に一億円の資金を運用した」点を指摘した。これに対して、道学事課では「道の補助金一億四千万円がホテルへの融資に使われた証拠はないが、同一人物がホテル社長であり誤解を与える」として渡辺理事長にホテル社長を降りるよう行政指導することになった。

同学園は五十七年七月、帯広北高等学校を帯広市東四南四から稲田町に新築、移転した。この時、十八億円の建設費用がかかったが、このうち十億円を国、道、市中銀行から借り入れるため、同校跡地約一万二千五百四十平方㍍を売却して充てる計画を立てた。

売却費は八億円に上るが、建設主体の日本国土開発に二億円分売却、一億円を渡辺女子学園に寄付、買い手がつかなかった五億円分をホテルサンシャイン帯広を設立して、将来同ホテルに売却する計画を立てていた。

問題となったのは、五十九年一月二十日、同学園が姉妹法人の渡辺女子学園に一億円を寄付した点。同女子学園はホテル設立のため約一億円を出資、同ホテルは土地の権利金として同学園に一億円支払っている。

渡辺理事長によると「渡辺学園は土地を三億円分手放した事になっているが、三億円のお金が入っている。資金の操作でそうなっただけで、不正はない。公認会計士にも相談してある」としている。

私立学校法二十六条（収益事業に関する規定）では「学校法人はその設置する私立学校の教育に支障のない限り、その収益を私立学校の経営に当てるため、収益を目的とする事業を行うことができる」とし、投資可能な十四業種を例示しているが、この中にホテル経営は該当しない。

同学園の場合、ホテルは別法人のため同学校法は適用されないが、道学事課では「学校法人の代表がホテルの代表と同一では誤解を招きかねない」として、渡辺理事長がホテルサンシャイン帯広の社長のポストを降りるよう、行政指導を行う方針だ。

これに対し、渡辺理事長は「女子学園に一億円を寄付したのが誤解の元。売却した事にすれば問題はなかった。前から北東公庫の融資が下り、株主を募集した段階でホテルの社長は降りるつもりだった」と話している。

なお、帯広市議会で昨年三月同趣旨の内容が取り上げられている。市は帯広北高新築移転に際し、私学振興補助金の名目で五十七年七百万円、五十八年七百万円の計千四百万円の補助をしている。

しかし、同学園が旧校地の財産売り払いによって財源操作を行い、ホテル建設も絡んできたことから「学校法人とホテル経営が同一人物では好ましくない」との指摘が議会内部から出た。このため、市は五十九年度分の七百万円の補助申請を却下、同学園もその後、申請を断念している。

ホテルサンシャイン帯広　鉄筋コンクリート六階建て八千二百五十平方㍍。客室五十室、収容人員百人、道東で最大規模とされる千人収容の宴会場を設ける予定。現在、北東開発公庫に融資の申請を行っている。法人設立は五十九年二月。

道が行政指導へ

渡辺理事長　ホテル社長辞めよ

【札幌】会期中の第二回定例道議会は三日、各会派の代表質問を続行、公明党の浅野俊一議員（札幌）が帯広渡辺学園が学校経営と無関係のホテル会社設立に一億円の資金を投じていたことについて「私立学校法に基づく道告示の内容に違反するのではないか」として道側の見解をただした。

これに対し、総務部の滝田武学事課長は「渡辺学園に一億四千万円の私学振興補助金を交付しているが、その補助金がホテル会社設立に投じられたかどうかについては、はっきりした証拠がなく、それぞれの法人格で資金調達したと言われればそれまでのこと。

だが、ホテル経営は私立学校法二十六条（収益事業に関する規定）に基づいて道告示で指定した投資可能な十四業種に該当せず、各法人の代表が同一人であることは疑惑や誤解を招きやすいので、渡辺理事長がホテル法人の代表から手を引くよう行政指導したい」との考えを示した。

第二札内橋早期に

一市四町の連絡協発足

会長に斉藤氏

斉藤会長

【幕別】第二札内橋の早期着工を目指す一市四町（帯広市、幕別町、池田町、豊頃町、浦幌町）の建設促進期成会の合同役員会が二日、幕別町民会館で初めて開かれ、運動母体として「第二札内橋架橋促進期成会連絡協議会」を設立、広域的な運動を進める態勢を整えた。また、会長には幕別の斉藤正美氏を互選した。

この日の役員会は、今年に入ってから東部三町（池田、豊頃、浦幌）に期成会が誕生したのを受けて幕別町期成会（斉藤正美会長）が中心になって準備を進めてきた。

斉藤会長、石井宏政帯広市期成会長のあいさつに続いて連絡協議会設立を満場一致で承認した。今後の取り組みは役員会を開いて正式に決めていくが、とりあえず国の来年度予算に建設調査費を計上させることを目標に一市四町の首長を交えた陳情活動を展開することを確認した。

行革のあおりを受けて見通しが立たなかった第二札内橋架橋促進運動は、この日の連絡協議会設立によって地元の広域的な態勢が整った。役員の氏名は次の通り。

▽会長＝斉藤正美（幕別）▽会長代行＝石井宏政（帯広）▽副会長＝佐藤信次郎（豊頃）高森与一郎（池田）木下政吉（浦幌）

ピープル

「帯広コンピュータ専門学校」を来春オープンするコアグループ代表

種村良平さん(45)

立派な学校造りたい

「帯広に進出したのは田本憲吾帯広市長ら地元の熱意があったから。帯広にはINS（高度情報通信システム）、CATV（有線テレビ）を中心にしたテレトピア（未来型コミュニケーションモデル都市）構想や、帯広空港があるなど条件もそろっている。ベンチャー精神を基にした立派な学校を造りたい」と学校建設に意欲をみせる。

帯広コンピュータ専門学校は、市が無償提供した稲田町の旧学校給食調理場跡の敷地に総工費一億七千五百万円をかけ、鉄筋コンクリート二階建て、延べ千百六十平方㍍の校舎を建設、来年四月開校する。情報システム工学科（四十人）、OAビジネス科（四十人）の二科、二年制で、道東初のコンピューター専門学校。

「今ようやく"船出"したばかりで、前途は楽観できない。学生の就職など地元の協力がぜひ必要だ。コアグループとしては帯広を札幌と並ぶ道内の拠点と考え、卒業生が出る六十三年までにソフトシステムの事務所を設置する方針だ」と帯広の将来性を重視している。

防衛大で応用物理を専攻、パイロットを目指したが「人間が三、四日かかる計算を即座に処理する電子計算機にひかれた」のがきっかけで三十八年防大卒業後日本ビジネスオートメーションに勤務。北海道ビジネスオートメーション、日本電子開発を経て、四十八年コアグループを設立した。現在、資本金五億七千万円。関連企業二十三社、技術者千人、全国に十支店、海外に三支店を持つベンチャー企業に急成長している。

「夢と理想と方向」が座右の銘。北大数学科卒の美那子夫人(四三)との間に一男三女。三重県藤原町出身。（小野寺　裕記者）

緊急地方道路整備事業費決まる

鈴木宗男、中川昭一両事務所から二日、十勝毎日新聞社に入った連絡によると、六十年度緊急地方道路整備事業に次の事業費が認められた。（単位百万円）

▽帯広市（六一九）▽音更町（七四）▽士幌町（九七）▽上士幌町（一四八）▽鹿追町（一九二）▽新得町（二四）▽清水町（八二）▽芽室町（一六〇）▽更別村（三七）▽大樹町（二一六）▽広尾町（七五）▽幕別町（三八九）▽池田町（二〇）▽豊頃町（一九一）▽本別町（三〇）▽足寄町（三〇）▽陸別町（三〇）▽浦幌町（一三七）

ソフト開発の事務所

63年までに開設

コアグループ

帯広コンピュータ専門学校の設立懇談会が二日午後、帯広グランドホテルで開かれ、コアグループの種村良平代表は六十三年までに帯広にソフト開発の事務所を開設する事を明らかにした。

コアグループは帯広市の誘致を受け、稲田町の旧学校給食調理場跡に「帯広コンピュータ専門学校」を建設、来年四月開校する。この日は地鎮祭、起工祝賀会の後、市主催の懇談会が開催され、地元の有力経済人の代表二十人が出席した。

席上、種村代表は「帯広コンピュータ専門学校の卒業生が出る六十三年までに帯広に事務所を開設したい」と初めて事務所設置の意思を示した。

事務所はソフト開発、ソフト、コンピューター機器の販売が主な業務。規模は最低二十人程度、同校の卒業生を採用する計画を持っている。同代表は「帯広を札幌と並ぶ道内の拠点にしたい」と話している。

なお、懇談会では経済界から①地元優先の入学はできないか②卒業生は即戦力になるのか―などの質問が出されたのに対し、同代表は「入学は選考委員会で検討する」「コンピューターの基礎知識については十分マスターさせる」などと答えた。

また同代表が開校に向けて、夜間コース、集中コースを検討していることを明らかにしたのに対し、地元経済人は「PTA的な組織をつくってバックアップする」ことで認識が一致した。

綿羊核に名物作り着々　帯広

3年後に千頭飼育

三年後には帯広市の指定料理店で「地場産のラムステーキ、ハム、ソーセージを食べながら、トウモロコシしょうちゅうを飲もう」。こんな帯広名物づくり作戦が着々進行中だ。池田町のワインに劣らぬ名物に―と、関係者の夢も大きい。

ラムステーキ食べ
トウモロコシしょうちゅうで乾杯
お土産は帯広ニット

帯広市綿羊生産組合（鯨岡覚正組合長・組合員二十二人）が残さいを利用、綿羊を飼い、たい肥で土づくりを―と立ち上がって三年。現在四百四十頭を飼育している。

市は今年、羽幌町から新たに二百頭の繁殖用雌を購入、六十一年に六百四十頭、六十二年に八百二十五頭、六十三年以降には別府、豊西、基松の畑専地帯の八十戸で一千頭を飼育する考え。「道内の綿羊は七千頭弱、あと二年もすると、全道一の"綿羊の里"になる」（帯広市農務部）。

既に綿羊の毛を紡いだ「帯広ニット」が市販されている。帯広市畜産基地事業でハム、ソーセージなどの加工を体験研修する帯広市八千代牧場の畜産加工品研修センターも近く着工、十月に完成する。

あとは「六十三年以降、毎年五百頭出荷可能となるラム（当歳の綿羊の肉）の市場価値をどう高めるか」が課題。

ラム肉はキロ六百五十円―七百円の卸値。ちょっとした牛肉並みの価格で、ジンギスカン用では採算に合わない。「札幌でも希少価値扱いの高級料理ラムステーキ（百二十グラム千円）ラムシャブシャブの店を指定制で育て、帯広の名物料理にしたい」（帯広市畜産課）考え。ラム料理に、手づくりのハム、ソーセージ、それに帯広市がキッコーマンに醸造委託するトウモロコシしょうちゅうと「帯広の畜産の"味"をそろえ「十勝に旅したら一度は食べなければ"損"という観光名物、食通のあこがれ料理に―という皮算用。

「ラムの生産体制は今年で確立、加工施設も整え。あとは理解ある協力料理店、コックを探し"腕"を磨いてもらうことになる」と、帯広市や帯広川西農協では市民からの協力申し出に熱い視線を送っている。

支持者の「バンザイ」に頭を下げる佐々木町長

佐々木氏無投票四選

「新たな気持ちで」と決意

新得町長選

【新得】任期満了に伴う新得町長選挙は二日告示されたが、現職の佐々木忠利氏（五三）のほかに立候補者の届け出はなく、二期連続の無投票で四選を果たした。午後五時すぎ祝勝会場の町農林業振興会館に佐々木町長が入ると支持者からバンザイの声があがり、それにこたえて「三期十二年に培った経験を生かし、新たな気持ちで町政を担当したい」と四期目にかける決意を語った。

早くから無競争が予想されていたため、盛り上がりに欠けたが、立候補の届け出を済ませた佐々木町長は、遊説車で町内を一巡した。名誉町民の石畑久成さんの音頭でバンザイが何度も繰り返されたあと、二度目の無投票で四選を飾った佐々木町長が輝子夫人の支えるダルマに大きな目を入れた。

国鉄の合理化などによる過疎化への歯止め、厳しい財政事情など新得町を取り巻く環境は厳しい。佐々木町長は七つの柱と五十一の政策実現を打ち出しているが、四期目の決意をインタビューにこたえ、次のように語った。

―四期目の町づくりについて抱負を…。

人口の減少に歯止めをかける努力が第一です。企業誘致に積極的に取り組み、併せて町民の豊かな暮らしを実現させる町政を進めたい。

―観光産業の開発が大きなウエートを占めていますが。

現在も色々、計画していますが、狩勝高原の開発を重点に努力したい。それと観光のマチの表玄関である駅前広場の整備を進めなければならないと考えています。

―ふれあいと命を大切にする福祉のマチづくりも掲げていますが。

特別養護老人ホームの建設をはじめ林業資源を活用したカラマツの加工工場、公衆浴場の建設を重点に取り組み、従来通り狩勝寿事業団の充実に力を入れていきます。

洋食の世界一　おびひろ西1南10丁目 ☎22 6332

ボランティア集まり来月18日

「わいわいタウン」開催

育てようコミュニケーション、広げよう心の架け橋―をテーマに帯広市社会福祉協議会（朝日秀二会長）と帯広ボランティア連絡協議会（藤田敏議長）は八月十八日、帯広市中央公園で「第一回わいわいタウン・帯広」を開く。

当日は野外ステージで障害者の詩に曲をつけて歌ったり人形劇、各サークルの出し物を披露。資料展示コーナーでは施設入所児の作品の展示即売、社会福祉活動内容の紹介を行う。子供の広場では昔の遊びやいたずら書き、フォークダンスなど、楽しい催しがいっぱい。

参加団体は帯広ごんべの会、帯広リーダースクラブ高校会などの高校生ボランティア、一般ボランティア団体約二十五。このほか福祉団体、福祉施設も協力する。

●電話・不動産・金融　信頼される　坂口商事　オビヒロ東1・18・8 ☎(24)2290

編集余録

百万石の町の旅

千歳空港を出たジェット機は北陸の小松空港に着陸した。この近くには九谷焼と安宅（あたか）の関跡がある。空港近くは、加賀の温泉郷になっている。近くの白山火山の熱を受けているので、温泉が多いわけである。その一つ、片山津温泉北陸グランドホテルに宿泊した。温泉は沼のような柴山湾に面している。湾の美しい風景を展望しながら温泉につかる。泉質は食塩泉なので、せっけんがきかないが、とても気持ちが良い。夕食は大名膳（ぜん）で、越前ガニ、タイの生きづくり等、日本海産の珍味がどっさり。旅の疲れが飛んでしまった▼温泉から金沢市内までは、車で三十分ぐらいである。金沢は百万石の旧城下町で、戦災を受けていないので、道路がせまい。中心街の「香林坊」まで、たどりつくのには時間がかかった。ここは現在、帯広市の藤丸ビルのように、再開発が進められている。ホテルと新デパートができるが、この地下に、千台の駐車場を作っている▼金沢は雨の多い町である。帯広市の三倍も雨が降るので、市内には犀（さい）川と浅野川が流れている。この川から、城を守るために用水を網の目のように引いていた。市は市民とともに「水と緑の再生計画」をたてて、用水の美化と付近の緑化をすすめつつある。快適な都市環境（アメニティ）を作るのに努力している。花の咲く木と、つつじ等を組み合わせて、用水沿いに配置しているので、町がしっとりと落ちついていて、快適である▼人口四十三万人の町に、大学等が十四校もある。加賀藩は学問を盛んにするように力を入れた。今も勉学の盛んな町である。大学も多いので、学会等の会議も多い。それで、市は会議都市を目ざして、会議場、ホテル等の建設と、これらを結ぶ情報、通信網の整備を進め（テレトピア）ている▼金沢は兼六園、金沢城石川門、長町武家屋敷跡、江戸村、泉鏡花と室生犀星（さいせい）の碑、卯辰山自然公園等見るところが多い▼会議都市をめざす帯広市は、金沢市のように都市型の大会議室のあるホテル建設と、これらの会議等を結ぶテレトピアの完成と、大学がもっとほしい。（T）

●総合ギフト ●トロフィー
●PR用品 ●カップ
●記念品 ●各種旗
カップとギフトのかがわ（株）香川商会
帯広市西4南1 ☎23-2381

幹部会議長にグロムイコ氏

ソ連最高会議が選出

【モスクワ二日時事】ソ連最高会議は二日、国家元首に当たる同会議幹部会議長にグロムイコ政治局員を全会一致で選出した。これに伴い、グロムイコ氏は第一副首相と外相のポストを外れた。幹部会議長の選出に先立ち、ゴルバチョフ書記長がグロムイコ氏推薦演説を行った。外相の後任には、一日の中央委総会で政治局員候補から政治局員に昇格したシェワルドナゼ氏が任命された。

◇帯広市辞令（28、29日）【退職】井上淳子（さくら保育所保母）秋山留美子（保健課保健婦）

毎日片々

◇渡辺学園、ホテル建設費に一億円の資金運用問題化。多角経営の行き過ぎ。

◇帯広空港の利用増続く。駐車場無料化が好因。年間二十五万人台に乗るか。

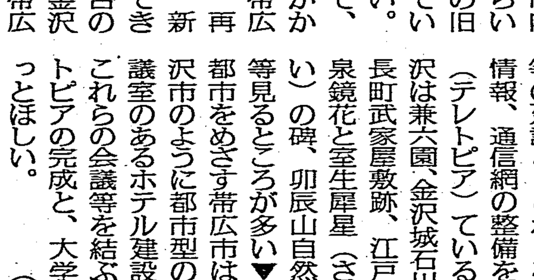
◇今年は正念場。昨年、不振の音更・雄飛が丘団地。条件緩和、成否に注目。

◇ノスリの自然繁殖に成功。おびひろ動物園。ほほえましい話、すくすく成長を。

◇七十歳、六十八歳そろって免許取得。晴れてシルバードライバー。努力に脱帽。

1ケ月複利でお引出し自由
〈野村〉の中期国債ファンド
公社債投資信託・追加型
年5.0～5.5％（予想分配率）
年5.475％

野村證券株式会社 釧路支店
〒085 釧路市北大通13丁目1番地（釧路駅前）
☎(0154)23-1171(代)

後援／十勝毎日新聞社　主管／北海道大家具覧会実行委員会　協賛／北海道電力、ジャックス、道東ダイハツ
後援／HBC北海道放送

北海道大家具覧会
札幌を震感させた大家具覧会がやってきた！
1,200坪の会場に一挙18,000点!!
全国の家具・インテリア用品が勢揃い!!
とき 7/11日(木)・12日(金)・13日(土)・14日(日)
ところ 帯広セントラルボウル〈中央公園西隣り〉
帯広市西4条南7丁目
おびひろ